



2024年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社 リード

上場取引所 東

コード番号 6982 URL <http://www.lead.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩崎 元治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 田口 英美

TEL 048-588-1121

定時株主総会開催予定日 2024年6月27日

配当支払開始予定日

2024年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期	5,058	0.7	10	92.6	61	70.0	48	73.8
2023年3月期	5,021	26.7	140		205		184	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2024年3月期	18.79		1.8	0.7	0.2
2023年3月期	71.87		7.4	2.5	2.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2024年3月期	8,555	2,881	33.7	1,115.07
2023年3月期	8,177	2,599	31.8	1,010.59

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,881百万円 2023年3月期 2,599百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	436	232	183	1,585
2023年3月期	589	255	479	1,564

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期				15.00	15.00	38	20.9	1.5
2024年3月期				10.00	10.00	25	53.2	0.9
2025年3月期(予想)				10.00	10.00		51.7	

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	11.1	60		20		40		15.48
通期	4,700	7.1	20	91.6	70	13.7	50	3.1	19.35

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	2,632,960 株	2023年3月期	2,632,960 株
期末自己株式数	2024年3月期	48,919 株	2023年3月期	60,370 株
期中平均株式数	2024年3月期	2,580,472 株	2023年3月期	2,572,590 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
製造原価明細書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(持分法損益等)	17
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	17
(1) 役員の異動	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、こここのところ足踏みもみられるが、雇用情勢や所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復が続くとみられています。しかし、半導体をはじめとした部品・原材料の供給不足は緩和傾向にある一方、ロシアのウクライナ侵攻の影響によるモノやカネの流れの停滞や、為替の円安基調の継続によるエネルギーや原材料価格の高止まり等、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社SUBARUの世界生産台数は、前年度に比較し10.9%増加、国内販売台数も同0.9%増加し、輸出台数も同8.7%増加となりました。

このような経済環境の中で当事業年度の売上高は、自動車用部品部門において、第4四半期における主要取引先の生産ライン停止に加え、別の主要取引先の新型車の本格稼働時期が、2024年6月頃へ延期されたこと等が重なり、前年同期比微減となったものの、駐輪部門の売上増加が奏功し、5,058百万円(前期比0.7%増)となりました。

損益面につきましては、自動車用部品部門において、第4四半期に、上記生産ライン停止により、人件費をはじめとした余剰コストが発生したことに加え、新型車の複数部品立上げに伴う材料費や人件費、諸経費等の先行投資を当期中の売上にて吸収しきれなかったことにより、営業利益は10百万円と黒字ながら、前期比では92.6%減となりました。

営業外収益は受取配当金28百万円、受取賃貸料39百万円、スクラップ売却益26百万円等により101百万円、営業外費用は支払利息39百万円、賃貸費用11百万円により50百万円を計上し、経常利益は61百万円(前期比70.0%減)となりました。また、特別利益は受取保険金1百万円、特別損失は固定資産除却損6百万円等により7百万円を計上しました。その結果、当期純利益は48百万円(前期比73.8%減)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、半導体供給不足の影響が緩和され、受注が増加傾向にあったものの、第4四半期における主要取引先の生産ラインが長期間稼働停止となったことに加え、別の主要取引先の12月に量産開始した新型車の本格稼働時期が、2024年6月頃に延期見込みとなったこと等により、第4四半期における売上が減少したことから、4,539百万円(前期比0.5%減)となりました。

損益面につきましては、上記ライン停止期間の人件費をはじめとした余剰コストが発生したことと、新型車の複数部品立上げに伴う先行投資(材料費、人件費、諸経費等)が当期中の売上にて吸収しきれなかったことが重なり、セグメント利益(経常利益)は、28百万円(前期比82.9%減)となりました。

②自社製品

当セグメント全体の売上高は、519百万円(前期比13.4%増)となりました。内訳としては、電子機器部門においては、一部受注品の生産終了や、スポット案件の減少等を主因とし、売上高は110百万円(前期比35.5%減)となりました。一方、駐輪部門においては、官公庁、駅やゼネコン関連の大口案件が増加したこと等により、売上高は408百万円(前期比42.7%増)と大幅に増加いたしました。

損益面につきましては、セグメント利益(経常利益)は4百万円(前期比38.7%減(内電子機器部門はセグメント損失(経常損失)13百万円(前期はセグメント損失(経常損失)2百万円)、駐輪部門は、電動キックボードの研究開発費の先行投資があったものの、売上の大幅増加が寄与し、セグメント利益(経常利益)18百万円(前期比83.1%増)))となりました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は、27百万円(前期比1.0%増)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は、前期末比378百万円増加し8,555百万円となりました。

・資産

流動資産は、売掛金が68百万円、未収還付法人税等が11百万円増加し、受取手形が25百万円、棚卸資産が17百万円、その他のうち立替金が90百万円、未収入金が69百万円減少したこと等から106百万円減少し3,132百万円となりました。

固定資産は、工具、器具及び備品が39百万円、建設仮勘定が188百万円増加し、建物が74百万円、リース資産が67百万円減少したこと等から有形固定資産は86百万円増加し4,220百万円となり、また、投資有価証券が385百万円増加したこと等から投資その他の資産は399百万円増加し1,202百万円となりました。その結果、固定資産全体では484百万円増加し5,423百万円となりました。

・負債

流動負債は、1年内返済予定の長期借入金が102百万円、未払金が45百万円、預り金が106百万円、設備関係支払手形が56百万円増加し、支払手形が19百万円、買掛金が11百万円、リース債務が18百万円、未払法人税等が32百万円、未払消費税等が60百万円、賞与引当金が15百万円減少したこと等から156百万円増加し2,911百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が115百万円、退職給付引当金が35百万円増加し、長期借入金148百万円、リース債務が59百万円減少したこと等から60百万円減少し2,762百万円となりました。その結果、負債全体では96百万円増加し5,674百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が38百万円、当期純利益が48百万円となり利益剰余金が9百万円増加し、また、その他有価証券評価差額金が262百万円増加したこと等から281百万円増加し、その結果、純資産額は2,881百万円となりました。これにより自己資本比率は33.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末と比べ20百万円増加し、1,585百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は436百万円（前事業年度は589百万円）となりました。収入の主な内訳は税引前純利益56百万円、減価償却費413百万円、退職給付引当金の増加35百万円、棚卸資産の減少12百万円、その他のうち立替金の減少90百万円であり、支出の主な内訳は賞与引当金の減少15百万円、売上債権の増加52百万円、仕入債務の減少84百万円、未払消費税等の減少60百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は232百万円（前事業年度は255百万円）となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得220百万円、貸付による支出15百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は183百万円（前事業年度は479百万円）となりました。長期借入れによる収入が750百万円に対し、長期借入金の返済796百万円、リース債務の返済99百万円、配当金の支払38百万円が主な支出であります。

なお、当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	31.0	31.2	29.4	31.8	33.7
時価ベースの自己資本比率	8.3	23.2	15.9	26.1	19.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	4.8	21.3	6.7	6.1	8.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ	14.4	3.7	12.0	13.2	11.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

2025年3月期におきましては、自動車用部品部門における半導体供給不足の影響は緩和傾向にある一方、ウクライナ情勢などに伴う円安の進行、原材料価格高騰等いまだ先行き不透明な状況であります。自動車用部品部門・自社製品部門共に、中長期的に新規受注を拡大するための積極的かつ戦略的な営業活動を展開する他、人員配置の更なる適正化、徹底した生産性の追求・主要経費の予算管理の実践を図ってまいります。また、自社製品部門の内、2021年3月1日に事業譲受した駐輪事業においては、今後も駐輪製品の企画開発から設計、製造、販売・設置、メンテナンスまで社内で一貫して担う体制を活かすとともに、販売エリア・チャネルの拡大や、営業力・製品開発力の強化により、事業の拡大を図ってまいります。

現時点での2025年3月期の業績は、第2四半期累計期間では、既存の大口量産車種1車種が、2024年度いっばいで、生産終了予定であることを受け、同車種の毎月の生産量が従来比3分の1程度に減少すること、また、2025年度に量産開始予定の大口2車種の生産ライン確保の為、工場レイアウト再編や、低稼働となっている一部のプレス機・樹脂成形機の撤去等の費用が発生予定であること等を主に、売上高2,200百万円、営業損失60百万円、経常損失20百万円、四半期純損失40百万円を見込んでおります。

一方、通期におきましては、昨年度量産開始した2車種が本格稼働を予定していることと、秋口に新たに1車種の量産が開始予定であることから、売上高4,700百万円、営業利益20百万円、経常利益70百万円、当期純利益50百万円を見込んでおります。

なお、次期の業績予想につきましては、現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しており、実際の業績は大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の業務は日本国内に限定されており、海外での事業活動ならびに財務活動が無く、また非連結のため子会社も有していないことから、会計基準につきましては日本基準を適用しておりますが、今後の国内他社のIFRSの適用動向等を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,578,062	1,585,016
受取手形	36,487	11,431
電子記録債権	406,335	413,591
売掛金	586,077	654,402
製品	76,995	67,870
仕掛品	29,545	25,999
原材料及び貯蔵品	196,428	191,475
前払費用	15,390	11,332
未収還付法人税等	—	11,319
その他	313,893	160,175
貸倒引当金	△110	△80
流動資産合計	3,239,106	3,132,535
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,376,820	1,302,424
構築物(純額)	36,915	33,052
機械及び装置(純額)	454,201	460,305
車両運搬具(純額)	6,975	5,768
工具、器具及び備品(純額)	237,906	277,752
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産(純額)	345,178	277,311
建設仮勘定	17,707	206,009
有形固定資産合計	4,133,574	4,220,494
無形固定資産		
ソフトウェア	917	550
リース資産	1,320	—
無形固定資産合計	2,237	550
投資その他の資産		
投資有価証券	731,332	1,116,747
出資金	10,520	10,520
従業員に対する長期貸付金	1,779	11,758
長期前払費用	3,277	1,567
破産更生債権等	2,717	4,764
投資不動産	155	155
その他	55,621	60,530
貸倒引当金	△2,710	△3,850
投資その他の資産合計	802,694	1,202,194
固定資産合計	4,938,506	5,423,239
資産合計	8,177,612	8,555,774

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	39,462	20,003
買掛金	344,718	333,632
短期借入金	610,000	610,000
1年内返済予定の長期借入金	727,297	829,715
リース債務	96,825	78,560
未払金	655,874	701,507
未払費用	—	88
未払法人税等	38,438	6,430
未払消費税等	68,387	7,743
前受収益	1,616	1,843
預り金	7,893	114,611
役員及び従業員に対する短期債務	70,368	72,079
賞与引当金	65,000	50,000
設備関係支払手形	29,254	85,731
流動負債合計	2,755,138	2,911,949
固定負債		
長期借入金	1,850,440	1,701,962
リース債務	314,058	254,802
繰延税金負債	107,735	222,926
再評価に係る繰延税金負債	427,256	427,256
長期前受金	7,306	4,871
退職給付引当金	61,647	97,358
資産除去債務	50,765	50,658
その他	3,430	2,596
固定負債合計	2,822,639	2,762,432
負債合計	5,577,777	5,674,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金		
資本準備金	211,245	211,245
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	—	3,140
資本剰余金合計	211,245	214,385
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	543,165	553,069
利益剰余金合計	543,165	553,069
自己株式	△31,746	△25,729
株主資本合計	1,380,903	1,399,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	245,347	507,843
土地再評価差額金	973,583	973,583
評価・換算差額等合計	1,218,931	1,481,426
純資産合計	2,599,834	2,881,392
負債純資産合計	8,177,612	8,555,774

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	5,021,364	5,058,979
売上原価		
製品期首棚卸高	81,515	76,995
当期製品製造原価	4,299,854	4,402,025
合計	4,381,369	4,479,021
製品期末棚卸高	76,995	67,870
売上原価合計	4,304,374	4,411,150
売上総利益	716,990	647,828
販売費及び一般管理費		
販売費	378,244	400,607
一般管理費	197,882	236,780
販売費及び一般管理費合計	576,126	637,388
営業利益	140,863	10,440
営業外収益		
受取利息	92	147
受取配当金	22,777	28,648
受取賃貸料	39,754	39,754
助成金収入	45,455	2,662
スクラップ売却益	6,577	26,108
その他	6,602	4,417
営業外収益合計	121,259	101,739
営業外費用		
支払利息	45,497	39,379
賃貸費用	11,268	11,232
営業外費用合計	56,766	50,611
経常利益	205,357	61,567
特別利益		
投資有価証券売却益	12,481	—
受取保険金	—	1,704
特別利益合計	12,481	1,704
特別損失		
固定資産売却損	—	424
固定資産除却損	808	6,750
特別損失合計	808	7,174
税引前当期純利益	217,030	56,097
法人税、住民税及び事業税	32,147	7,608
法人税等調整額	△15	△5
法人税等合計	32,132	7,603
当期純利益	184,898	48,493

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費		1,810,526	42.1	1,770,604	40.3
II 労務費		893,874	20.8	899,349	20.4
III 経費		1,603,268	37.3	1,732,831	39.4
(この内外注加工費)		(382,180)	(8.9)	(547,002)	(12.4)
(この内減価償却費)		(454,717)	(10.6)	(405,164)	(9.2)
IV 作業屑等雑収入控除		5,905	0.1	4,305	0.1
当期製造費用		4,301,764	100.0	4,398,479	100.0
仕掛品期首棚卸高		27,635		29,545	
合計		4,329,400		4,428,024	
仕掛品期末棚卸高		29,545		25,999	
他勘定振替高		—		—	
当期製品製造原価		4,299,854		4,402,025	

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	658,240	211,245	211,245	371,129	371,129	△31,746	1,208,868
当期変動額							
剰余金の配当				△12,862	△12,862		△12,862
当期純利益				184,898	184,898		184,898
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	172,035	172,035	—	172,035
当期末残高	658,240	211,245	211,245	543,165	543,165	△31,746	1,380,903

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	213,525	973,583	1,187,109	2,395,977
当期変動額				
剰余金の配当				△12,862
当期純利益				184,898
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	31,821	—	31,821	31,821
当期変動額合計	31,821	—	31,821	203,857
当期末残高	245,347	973,583	1,218,931	2,599,834

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他 資本剰余金 自己株式 処分差益	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	658,240	211,245	—	211,245	543,165	543,165	△31,746	1,380,903
当期変動額								
剰余金の配当					△38,588	△38,588		△38,588
当期純利益					48,493	48,493		48,493
自己株式の取得							△30	△30
自己株式の処分							6,047	6,047
自己株式処分差益			3,140	3,140				3,140
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	3,140	3,140	9,904	9,904	6,017	19,062
当期末残高	658,240	211,245	3,140	214,385	553,069	553,069	△25,729	1,399,966

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	245,347	973,583	1,218,931	2,599,834
当期変動額				
剰余金の配当				△38,588
当期純利益				48,493
自己株式の取得				△30
自己株式の処分				6,047
自己株式処分差益				3,140
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	262,495	—	262,495	262,495
当期変動額合計	262,495	—	262,495	281,557
当期末残高	507,843	973,583	1,481,426	2,881,392

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	217,030	56,097
減価償却費	463,993	413,876
株式報酬費用	-	6,891
貸倒引当金の増減額(△は減少)	840	1,110
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△666	35,711
賞与引当金の増減額(△は減少)	45,000	△15,000
受取利息及び受取配当金	△22,869	△28,796
支払利息	45,497	39,379
助成金収入	△45,455	△2,662
スクラップ売却損益(△は益)	△6,577	△26,108
投資有価証券売却損益(△は益)	△12,481	-
受取保険金	-	△1,704
有形固定資産除売却損益(△は益)	808	7,174
売上債権の増減額(△は増加)	△199,621	△52,345
棚卸資産の増減額(△は増加)	△30,031	12,578
仕入債務の増減額(△は減少)	168,301	△84,254
預り金の増減額(△は減少)	2,146	106,462
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,742	△60,643
その他	△94,939	37,917
小計	537,717	445,684
利息及び配当金の受取額	22,869	29,693
利息の支払額	△44,834	△37,267
助成金の受取額	65,045	12,355
スクラップ売却による収入	6,577	26,108
保険金の受取額	-	1,704
法人税等の支払額	△820	△42,132
法人税等の還付額	3,038	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	589,594	436,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,000	13,500
投資有価証券の取得による支出	△7,543	△7,723
投資有価証券の売却による収入	20,901	-
有形固定資産の取得による支出	△260,264	△220,688
有形固定資産の売却による収入	-	29
無形固定資産の取得による支出	△710	△176
資産除去債務の履行による支出	-	△151
貸付けによる支出	-	△15,190
貸付金の回収による収入	3,110	2,999
保険積立金の積立による支出	△4,839	△4,879
差入保証金の差入による支出	△50	△30
差入保証金の回収による収入	20	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,376	△232,310

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△80,000	-
長期借入れによる収入	701,031	750,781
長期借入金の返済による支出	△959,206	△796,841
リース債務の返済による支出	△128,910	△99,097
自己株式の取得による支出	-	△30
配当金の支払額	△12,649	△38,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△479,735	△183,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△145,517	20,454
現金及び現金同等物の期首残高	1,710,079	1,564,562
現金及び現金同等物の期末残高	1,564,562	1,585,016

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品による事業部門として、自動車用部品を受注している「自動車用部品」、自社ブランドを主とした電子機器製品・駐輪製品を販売している「自社製品」と、収益に重要な影響を与える「賃貸不動産」を加えた3部門を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「自動車用部品」は主に、バンパー、スポイラー等の外装部品、ハンドブレーキレバーシステムの製造販売をしております。「自社製品」のうち、電子機器事業では主に、情報通信機ラック、汎用電子機器ケース、シャーシの製造販売を行っております。また、駐輪事業では、駐輪ラック等の駐輪製品の企画開発から設計、製造、販売・設置、保守メンテナンス及び駐輪場経営を行っております。「賃貸不動産」は、店舗等を賃貸しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	財務諸表 計上額
	自動車用 部品	自社製品	賃貸不動産	計		
売上高						
一時点で移転される財	4,280,602	424,089	—	4,704,692	—	4,704,692
一定の期間にわたり移転される財	282,979	33,692	—	316,672	—	316,672
顧客との契約から生じる収益	4,563,582	457,782	—	5,021,364	—	5,021,364
自動車部品	4,563,582	—	—	4,563,582	—	4,563,582
電子機器	—	171,559	—	171,559	—	171,559
駐輪	—	286,223	—	286,223	—	286,223
外部顧客への売上高	4,563,582	457,782	—	5,021,364	—	5,021,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,563,582	457,782	—	5,021,364	—	5,021,364
セグメント利益	170,020	7,881	27,455	205,357	—	205,357
セグメント資産	5,523,670	324,374	483,380	6,331,426	1,846,186	8,177,612
その他の項目						
減価償却費	456,400	2,374	5,218	463,993	—	463,993
受取利息	86	6	—	92	—	92
支払利息	41,755	2,711	1,031	45,497	—	45,497
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	217,239	2,492	—	219,731	6,009	225,740

- (注) 1. セグメント利益の合計は、損益計算書の経常利益と一致しております。
2. セグメント利益には、適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。
3. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
4. 調整額の内容は、各報告セグメントに属さない全社管理の資産であり、現金及び預金、建物の一部、投資有価証券等であります。

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	財務諸表 計上額
	自動車用 部品	自社製品	賃貸不動産	計		
売上高						
一時点で移転される財	4,322,890	487,244	—	4,810,135	—	4,810,135
一定の期間にわたり移転される財	216,973	31,869	—	248,843	—	248,843
顧客との契約から生じる収益	4,539,864	519,114	—	5,058,979	—	5,058,979
自動車部品	4,539,864	—	—	4,539,864	—	4,539,864
電子機器	—	110,617	—	110,617	—	110,617
駐輪	—	408,497	—	408,497	—	408,497
外部顧客への売上高	4,539,864	519,114	—	5,058,979	—	5,058,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,539,864	519,114	—	5,058,979	—	5,058,979
セグメント利益	28,999	4,827	27,740	61,567	—	61,567
セグメント資産	5,766,745	383,234	478,017	6,627,997	1,927,777	8,555,774
その他の項目						
減価償却費	406,602	2,089	5,184	413,876	—	413,876
受取利息	137	10	—	147	—	147
支払利息	36,531	2,065	781	39,379	—	39,379
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	477,245	2,784	—	480,030	23,717	503,747

- (注) 1. セグメント利益の合計は、損益計算書の経常利益と一致しております。
2. セグメント利益には、適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。
3. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
4. 調整額の内容は、各報告セグメントに属さない全社管理の資産であり、現金及び預金、建物の一部、投資有価証券等であります。

【関連情報】

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SUBARU	2,989,962	自動車用部品
株式会社千代田製作所	577,306	自動車用部品
河西工業株式会社	426,815	自動車用部品

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SUBARU	2,613,714	自動車用部品
株式会社千代田製作所	693,719	自動車用部品
河西工業株式会社	596,990	自動車用部品

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,010円59銭	1,115円07銭
1株当たり当期純利益	71円87銭	18円79銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益(千円)	184,898	48,493
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	184,898	48,493
普通株式の期中平均株式数(株)	2,572,590	2,580,472

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,599,834	2,881,392
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,599,834	2,881,392
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,572,590	2,584,041

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動(2024年6月27日予定)

新任取締役候補

取締役 水野 正己 (現 執行役員 自動車部品事業部副事業部長 兼 製造部長)